

ちよっこしい話

木 島 病 院 報

木島病院看護部について

看護師長 山 本 順 子

Vol. 81

平成 27 年 7 月 21 日発行
発行：木島病院編集委員会



当院の看護職員は80名います。そのうち看護師は60名です。

毎年4～5名の看護師が入社しています。1日でも早く当院での看護業務を習得してもらう為、教育体制を充分にしたいと考えました。そんな時に石川県看護協会事業計画の1つとして、看護職員研修推進アドバイザー派遣のお話をいただき、昨年度受け入れさせていただきました。

内容は看護協会より2名のアドバイザーさんに9月、11月、1月と3回当院に訪問して頂き、現状の教育体制について聞いてもらい、その中で困っていることに対して話し合いをしてアドバイスをいただきました。話し合いの中で見えてきたのは、看護教育は当院での看護師像を目標にして取り組めば良いという事です。

そこで最初に取り組んだのが委員会の発足です。看護管理職と実地指導者で定期的開催し話し合いを重ねました。結果、教育プログラムを作り直し、評価表は厚生労働省からの内容に沿ったものにすればよい事に気付き、何度も話し合いを持ち改善する事が出来ました。

今回アドバイザー派遣を受け入れさせていただき改善されたことは、

- ①教育プログラムと評価表の作成はもちろんのこと、実地指導者と情報を共用することにより、教育への責任をもって行動してもらえるようになり、協力も得られるようになりました。
- ②入社時期や長期休暇明けの時期を事前に委員会で伝える事により、受け入れ準備が出来るようになりました。
- ③これまでは配属部署以外、シフト変更するまで他部署の状態を知らずに経過していた為、平成27年度より他部署研修を1週間ずつ取り入れる事にし、当院での病棟・外来・手術室での看護が少しでも理解してもらえるように計画・実施をするようになりました。

今後の課題としては、当院で習得できない看護技術の研修をどのように計画していけばよいからです。この件に関しては今後検討を重ねていきたいと考えています。

最後に、当院の看護職員は技術だけでなく、安全で安心な治療や入院生活が送れるよう、思いやりを持った看護が出来るような看護師を目指し、日々努力を重ねていきたいと思っています。



ちょっこしい話

きじま在宅介護センター 通所リハ10周年!!!



きじま在宅介護センター 松尾 さおり

おかげさまで、きじま在宅介護センター通所リハビリテーション（以下通所リハビリ）も10周年を迎えることができました。開設当初は数名だった利用者様も現在では満員になる事もあり、毎日活気にあふれています。

10年という月日は短いようで長くもあり、たくさんの出会いがありました。春のお花見ツアー、秋になれば紅葉を見に行き、季節を感じながら公園を歩いたこと、時には昔のお話を聞く事で人生の勉強になったりと、私達にとっては学ぶ事ばかりです。

10年間、振り返ってみると私達は本当にたくさんの人たちに支えられ、愛されてここまで成長することができたのだと感謝の気持ちでいっぱいです。

木島病院の理念でもあります「元気になる為の病院」。この言葉を胸に利用者様に元気と笑顔を提供し、楽しくハツラツと過ごして頂けるよう、日々努力し続けたいと思っています。

平成 27 年 6 月 1 日、2 日と 10 周年をお祝いして、開設初回月からの利用者様に花束が贈られました。10 年を振り返り、色んな想いを語って頂きました。

花束をもらって嬉しかったです。勤めてる人は退職する時にもらったりするだろうけど、ずっと畑をしてきたから。介護センターでは、たくさんの人との出会いがあって身の上話をたくさん聞きました。印象に残るお話もあります。数ある出会いの中で姉妹のように仲の良い人も出会えた。気が小さくて、幼い頃は泣き虫だったけれど、リハビリも運動も頑張ってきました。色んな人とたくさん出会って、楽しい思い出もたくさんで、嬉しいです。（南部 豊子 様）



人の中に出ないと失語症になってしまう。一人暮らしの私にとっては必要な場所です。始まった当初は人数が少なかったけど、楽しかった。リハビリ以外にも、お家に集まっておしゃべり会ができるほどの友人ができたことが嬉しかった。

楽しい思い出がいっぱいです。色んな方との出会いがあったから、リハビリも頑張ってきました。木島病院とは長いお付き合いで不思議な縁を感じます。最後に栄養士さん、いつもお食事本当にありがとうございます。旬のものや季節に合わせて考えてくれるので、暦を思い出してくれます。どうもありがとうございます。（小川 富美江 様）



初めて来た時、「うわぁ～ここに来たいなぁ～」と思いました。運動する機械があって、体も動かすことができるし、お風呂も大きくて気持ちよくて、職員の皆さんも優しいし、行きたくないと思った日はありません。お休みの日はだらけてしまうけど、デイケアに行く日は心がうきうきします。10 周年のお祝いに立派な花束まで頂きました。今でも私なんかがもらって良かったのかなぁ～と思います。本当に楽しい、楽しいことばかり。ありがとうございました。（北村 芳子 様）



百万石まつり 踊り流し

理学療法士 高井 香映・土井 康平

「ほーやねったらほやほやね」6月5～7日に金沢百万石まつりが開催され、私達は石川県理学療法士協会の一員として踊り流しに参加してきました。今年は北陸新幹線が開通し、全国各地から多くの人が金沢に足を運び、過去最高の賑わいとなりました。百万石まつりでは、様々な催し物があり、その中でも踊り流しは特に活気に溢れています。踊り流しには老若男女問わず、華やかな衣装をまとった多くの団体が参加し、金沢の中心街を練り歩きます。そのため参加者だけでなく、見物人も楽しめ、多くの人が石川県の祭り文化を肌で感じる事ができます。また、知らない方々とも踊り流しを通じて交流する事ができることも魅力の一つです。今年も残念ながら賞を頂くことはできませんでしたが、石川県の伝統文芸に触れ、全国各地の参加者の方々と一つになって踊りきる事ができました。ぜひ皆さんも、飛び入り参加ブースもありますので、来年は家族や友人、ご近所お誘い合わせて参加してみてもうでしょうか。



春の防火訓練

柔道整復師 竹本 理幸



平成27年5月28日に当院にて防火訓練が行われました。訓練内容は夜間に3階給湯室から火災が発生し、夜勤者と職員寮のスタッフで病棟患者様を避難させるという設定でした。

スムーズに避難誘導出来ていたと思っていたのですが、消防署の方からは『もっと大きな声で周囲に知らせるように』や『何かトラブルがあっても慌てずに対処するように』などの注意を受けました。

訓練では出来ている事でも、実際に火災に遭遇した際は混乱してしまうものです。第一に火災を発生させないように注意する

事が大切ですが、もし火災現場に遭遇してしまったとしても、慌てずに対処できるよう常日頃よりイメージトレーニングをしておく事が最も大事だと思います。その為にも定期的に防火訓練を行い、今後は職員全てが要領よく火災時の避難対応ができるよう勉強会などを開き、木島病院の防災に努めていきたいと思っています。



部 活 リ レ ー

釣 り 部

柔道整復師 滝口慎太郎

今回は釣り部の紹介をいたします。

部員は医師・リハビリスタッフを中心として構成されていますが、部員以外の人も随時参加して活動しています。船釣り・筏釣り・防波堤からの釣りなど、その時々に応じていろいろな釣りを楽しんでいます。



最近の活動では、能登島の民宿に泊まって夜は漁港、朝は筏で釣りを楽しみました。

今回はみなさん結構釣れていましたが、ただ一人僕だけは筏で一匹も釣れずに悔しい思いをしました。

毎回たくさん釣れたら楽しいのですが、釣れない時にあれこれ工夫をする事が釣りの醍醐味の一つです。大物を釣る事や大漁を目指して今後も精力的に活動していきます。

また、良い釣り場や釣り方があったら教えてください！



部 署 リ レ ー 薬 局

薬剤師 大塚和佳子

こんにちは、今回は薬局を紹介します。

私たちは薬剤師4名の小さな部署ですが、日々、入院・外来患者さんへ処方されるお薬と真剣に向き合い、取り組んでいます。お薬を正確に調剤することはもとより、患者さんにきちんと服用又は使用していただけるよう努めています。御高齢の方やお薬の管理が難しい方にはお薬を一包化したり、他院での併用薬がある方の飲み合わせをチェックしたり、安全に服用していただけるよう気を配っています。入院患者さんにおいては、服薬指導の他、注射薬の準備もしています。また、消毒薬含め院内の薬剤の管理全般を行っています。

少人数で慌しくしていますが、お薬のことでわからないことがあれば、気軽におたずねください。皆様が安心してお薬による治療が出来るようにお手伝いしていききたいと思います。



糖尿病の方はご相談ください



内科医師 新田 恭子

はじめまして、こんにちは。

昨年より木曜午後の内科外来を担当させていただいております、新田です。

私はここ金沢で生まれ育ち、地元の金沢医科大学を卒業し、母校である金沢医科大学病院と金沢医療センターでの卒後研修を経て、金沢医科大学病院 糖尿病内分泌内科に入局しました。

専門は糖尿病・内分泌になりますので、健康診断で「糖尿病の気がある」と言われた方はぜひ木曜日の午後にお越し下さい。

糖尿病はあまりにも有名であり、罹患者が多く、かつ症状が無い事が特徴の病気です。しかし、診断初期の糖尿病に対する心構えが、数十年後の合併症出現の大きな差となって現れてくる事が分かっています。

また、合併症が出現した後も、適切な治療を行う事で失明を免れたり、透析導入までの時期を延長することが出来ます。まずは受診し相談して下さい。今からの時期、暑くなってきました。糖尿病の方は動脈硬化の合併率も高く、脱水になると血液量が減るので血管がさらに細くなり、脳梗塞が起こりやすくなります。小さな脳梗塞が多く起こると認知症が進行する事もあります。脱水には十分お気を付け下さいね。

第28回 地域交流会

柔道整復師 星名 健



5月30日に地域交流会が体育館を会場として開催されました。

今回は鞍月児童館バトントワリングクラブによる『バトントワリング』と、岡村先生による『肩の痛み』についての講演、リハビリスタッフによる『肩の体操・頭の体操』を行いました。

バトントワリングでは笑顔を崩さず一生懸命踊る姿が可愛らしく、参加者の方はお孫さんやひ孫さんを思い浮かべる方もいたと思います。岡村先生の講演ではひとくくりに肩の痛みと言っても、それぞれに原因が違う事を説明されていました。

また、みなさん今回習った体操で腰痛・認知症の予防や改善に努めて下さいね。

それでは次回の地域交流会もお楽しみに。



職員リレー紹介

さかい ちかこ
▶▶▶ 看護補助 坂井 智香子 さん

暑い季節になり、外で遊ぶにはとてもいい季節になってきました。

私には2人の男の子がいます。子供たちはヤンチャ盛りで、外で遊ぶのが大好きです。休みの日はよく3人でいろんなところに出掛けています。2人ともお祭りや獅子舞が大好きで、町のお祭りが近くなると毎晩獅子舞の練習を見に行っています。先日も百万石行列の翌日にやっている催し物(イベント)に行き、獅子舞を見てきました。そして、保育園での遠足では、お弁当作りは苦手



なのですが、キャラ弁に挑戦しています。毎回、子供の遠足気分と同じように、明日はどんなお弁当にしようかと考えています。子供たちが喜び顔を思い浮かべながらお弁当を作り、子供たちが帰ってきて空っぽになったお弁当箱を見ると、とてもうれしい気持ちになります。子供たちはまだまだ手がかり、毎日の育児は大変ですが、いつも子供たちの笑顔に支えられています。子供たちの笑顔を見て、これからも頑張っていきたいと思います。



今回は、柔道整復師の原敏之さんです。

接骨院紹介

やまもと接骨院

やまもと接骨院院長 山本 将登



こんにちは。やまもと接骨院の山本将登です。木島病院では4年と半年の間、勤務させていただきました。その間、外来やりハビリでの技術的な事はもちろんのこと、医療に対する心構えや楽しさを学ばせてもらい本当にありがとうございました。

今年の4月よりやまもと接骨院を開業しましたので、木島病院での経験を活かし、木島病院の理念「元気になる為の病院」にならい、「元気になる為の接骨院」を目標に、日々患者さまと向き合っていきたいと思っています。

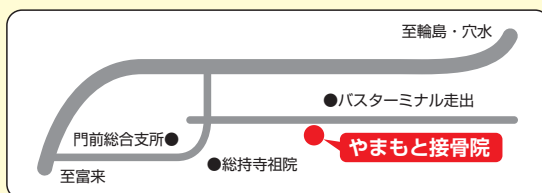
みなさまもお近くに来られた際にはぜひお気軽にお立ち寄りください。

受付 平日 午前8:00～12:00 午後15:00～20:00
土曜 午前8:00～12:00 午後 休診
休診日 日曜、祝日

住所 輪島市門前町走出2の89番地1

駐車場 接骨院前3～4台

☎ 0768-42-0533



編集後記

夏の風物詩といえば『花火』ですね。鑑賞用の花火はイタリアのフィレンツェが発祥の地と言われています。さて、今年はどこの花火を見に行こうかな～♪次回のちょっこしい話もお楽しみに☆ (新聞委員一同)

木島病院

TEL (076) 237-9200
FAX (076) 237-9202

きじま在宅介護センター

TEL (076) 237-7111
FAX (076) 237-1199

健康増進施設

スポーツリハビリ きじま

TEL (076) 237-9282
FAX (076) 237-9202

〒920-0011 金沢市松寺町子41番地1

病院ホームページアドレス <http://www.kijima-hp.or.jp/>